



発行所 ◆中日新聞社
 名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
 〒460-8511 電話 052(201)8811



深い山々に囲まれた福井市上味見地区で、二〇〇一年三月に廃校になった小学校の校舎を活用し、〇五年に「ふくい森の子自然学校」を設立した。園児や児童・生徒が自然と触れ合う機会を捉えている。

活動は地域にも浸透しはじめた。

森になじむ子どもたち

流を深めるキャンプの開催にも携わっている。一九九二年にブラジルのリオデジャネイロで開かれた地球サミットで唄われたスローガン「持続可能な発展」に影響を受けた。「経済発展と環

境保護は両立できないと唱えていたので、このスローガンはとも面期的だった」。実現の一助に「日々の活動は微々たるものかもしれないが、積み重ねは力になると信じている。森は楽しい場所だと小さいころからなじめを覚えることで、都市に住みながらも山や森のことを考える人が次第に増えていけばいい」と

笑みを浮かべた。

(小島香子)

田植えから草取り、稲刈りまで稲作を体験したり、自分たちで採ってきた植物を素材に工作をしたりと多岐にわたる活動には、県内だけでなく関西などからも年間延べ一万人以上が参加。週末や長期休みになると、過疎の町に子どもたちの元気な声が響く。住民が指導役を担い、子どもが地元祭りに参加するなど、

福井市の市街地で生まれ育った。東京の大学に進学後、当時、世界的に注目を集めていた熱帯雨林の荒廃や南北問題に関心を強め、国際交流や環境保護活動に足を踏み入れた。現在も自然学校の活動の傍ら、北東アジア各国の子どもたちが年一回、自然体験を通じて交

「ふくい森の子自然学校」代表

辻 一憲さん(41)

